

宮沢元首相・キッシンジャー元米国国務長官も参加した

「日米学生会議」の説明会 12/19(月)西宮上ヶ原キャンパスで開催

日米学生会議と関西学院大学E.S.S.は、来年夏に開催される日米学生会議に参加する学生を募るため、説明会を西宮上ヶ原キャンパスで開催する。日本と米国の学生各36名、計72名が約一カ月にわたって共同生活を送りながら、世界の様々な問題に関して英語で議論を行うと共に、参加者同士の相互理解を深めることを目的とする国際学生交流プログラム。1934年の創始以来、80年以上の歴史を通して宮沢喜一元首相、ヘンリー・キッシンジャー元米国国務長官らを始め、政界・財界・官界・学界等の各方面に多くのOB・OGがおり、現在もOB・OGは現役参加者と交流をする機会が多くある。
※他大学の学生も参加可

【日米学生会議 関西学院大学説明会】

■日時：2016年12月19日(月)12:45～13:25

■場所：西宮上ヶ原キャンパス 学生会館新館2階
会議室1

■連絡先：第69回日米学生会議 実行委員会(TEL: 090-8011-9855、E-mail: jasc69media@gmail.com)

★本会議の開催日程は2017年8月6日～28日、開催地は京都・愛媛・三重・東京(主催：一般財団法人国際教育振興会、企画・運営：日米学生会議実行委員会)

12/14(水) 企業法務連続セミナー開催

関西学院大学法政学会は、企業の第一線で活躍している法務エキスパートを招き、連続講演会を実施している。今回はシリーズの2回目で、三井住友信託銀行 法務部法務専門部長の田中 和明氏を招き、現代社会における信託の活用を中心に、企業法務の魅力について語ってもらう。

※一般参加可、無料、事前申し込み不要。

■日時：12月14日(水) 15時10分～16時40分

■場所：西宮上ヶ原キャンパス B号館204

■講師：三井住友信託銀行法務部法務専門部長
田中 和明氏

■テーマ：企業法務の魅力について

一現代社会における信託の活用を中心に

■問い合わせ：法学部事務室(0798・54・6203)

フィリピン女性のエンパワーメントを目指し 単身渡比！ アクセサリーを共に作成して販売



米田 奈央さん
(人間福祉学部 4年生)

日本からの帰国者で構成され、フィリピン人女性のエンパワーメントを目指すNGO「バティス・アウェア」の女性たちと、現地でピアスやブレスレットなどのアクセサリーを作って、10月末に宝塚市のカフェで販売した。

人間福祉学部で、もともと関心があった貧困や多文化共生、発展途上国問題などについて学んできた。所属するゼミの武田丈教授と関わりがある「バティス・アウェア」を、武田教授と訪れたのは昨年8月。そこで、過去の日本での辛い経験を涙して話す女性たちを目の当たりにして、支援しよう

と決めた。「普段はとても明るくてパワフルな彼女たちが、日本で受けた不当な扱いに今も苦しんでいることにとってもショックを受け、同じ女性として怒りを感じた」と言う。「バティス・アウェア」では、裁縫や洗濯などの活動をすでに行っていたが、実際に行っているのは数人で、組織全体で動いているとは言えない状態だった。「みんなの課題は、みんなで取り組むべき」と考え、誰でも簡単にでき、興味でもあるアクセサリー作りを思いついた。

10月中旬、再び「バティス・アウェア」を単身で訪問。集まってくれた8人のメンバーと約4日間で、自らデザインしたアクセサリーを約100個作った。国内各地から集まった彼女らの滞在費や日当は、自分が日本で2か月間、朝から晩までアルバイトをして貯めたお金で支払った。できたアクセサリーを持ち帰って10月末に宝塚市のカフェで販売すると、半数弱が売れ、3万円ほどになった。人間福祉学部の先輩、黒田尚子さん(2012年卒業)が、外国人女性



の就労支援を目的に神戸市内に開いたレストラン「SALA」でも販売を予定している。売上金はまとめて、「バティス・アウェア」へ寄付するという。

米田さんは「この活動が、彼女たちにとって経済的自立のための第一歩となって、自分らしさや自信を取り戻すきっかけになれば」と話している。

写真上 米田さんと現地の女性たちが作ったアクセサリー

写真下 現地の女性たちとアクセサリーを作る米田さん(左端)＝フィリピン・マニラで